

## “空の道”の構築を目指した「空飛ぶクルマ」に関する 大阪府公募案件採択決定について

～大阪府でドローンとヘリコプターを用いた実証実験を実施～

株式会社 JR 西日本イノベーションズ（大阪市北区 代表取締役社長：奥野 誠、以下「JR 西日本イノベーションズ」）は、大阪府主催の公募<sup>(注)</sup>に対し、三井物産株式会社、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、朝日航洋株式会社、小川航空株式会社、Terra Drone 株式会社と共同で「エアモビリティ統合運航管理プラットフォーム<sup>※1</sup>事業」を提案し、事業採択されました。

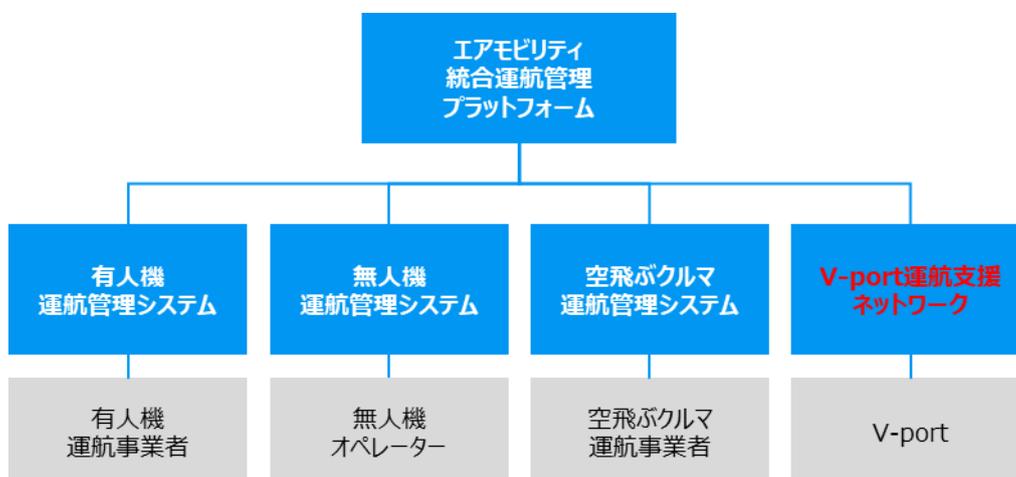
JR 西日本イノベーションズは、2025 年の大阪・関西万博をひとつのマイルストーンとして、JR 西日本グループの資産の活用および企業や自治体との連携により様々な検証を実施し、次世代モビリティである「空飛ぶクルマ<sup>※2</sup>」のサービス構築とより利便性の高い交通サービスの提供を目指します。

### 記

#### 【実施概要】

本プロジェクトでは、空飛ぶクルマ・ヘリコプター・ドローン等の多種多様な機体の安全かつ効率的な飛行を可能とする“空の道”を作ることを目的に、大阪府内でヘリコプターやドローンを用いた実証実験を実施する予定です。今年度は、エアモビリティ統合運航プラットフォームと離発着場のネットワーク（V-port<sup>※3</sup> 支援ネットワーク）との連携を図ります。平時と緊急時が切り替わるシナリオを想定し、ヘリコプターやドローンが双方のネットワーク上で情報の連携を行い、必要な機能等について実証を行います。

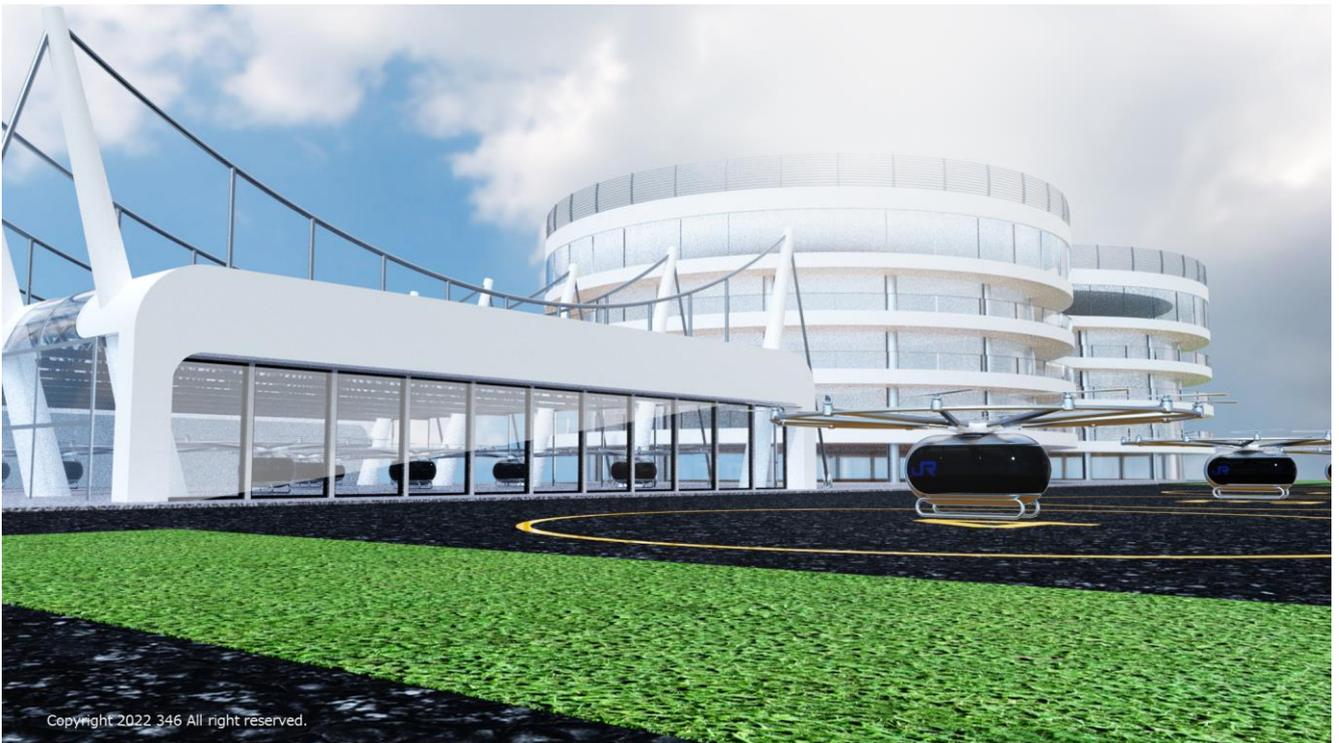
#### ≪システムの概念図≫



【用語について】

- ※1 エアモビリティ総合運航プラットフォーム：空飛ぶクルマ・ヘリコプター・ドローンなどの多種多様な機体の動態情報を集約し一元管理をするものです。
- ※2 空飛ぶクルマ：電動垂直離着陸機の一般名。電動モーターで複数の回転翼を回転させ、垂直離着陸できる小型航空機を指します。
- ※3 V-port：空飛ぶクルマが離発着を行う場所で、運航の拠点となる駅のような役割を持ちます。

《空飛ぶクルマと V-port のイメージ》



(注1) 大阪府 HP リンク

<https://www.pref.osaka.lg.jp/energy/evtol/hojyokin-soratobu.html>

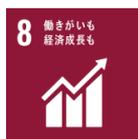
今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 8 番、9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JR西日本グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



本件に関するお問い合わせ先

株式会社 J R 西日本イノベーションズ TEL : 06-6375-8244